

2020年7月 令和2年7月豪雨①



球磨村保健医療調整本部（熊本県）



球磨川の氾濫による浸水被害をうけた球磨村診療所を視察（熊本県）



清掃後の球磨村診療所にて処方薬の調剤支援（熊本県）



球磨村診療所職員の皆さんと支援者で集合写真

【活動概要】

2020年7月3日から31日にかけて日本付近に停滞した前線の影響で各地で大雨となった。特に九州では7月3日から8日にかけて梅雨前線が停滞し、熊本県、大分県、長崎県で大河川の氾濫、土砂災害、低地の浸水等の被害が多く発生した。当院から派遣された薬剤師の豊山は、7月10日から18日まで熊本県の球磨村総合運動公園内に設置された「球磨村保健医療調整本部」で薬剤にかかわる困りごとを統括するよう指示された。

球磨村はとても広い地域で避難所が点在しており、道路の寸断や移動手段の喪失などの理由により医療機関を受診することが困難な地域であった。そのため、村内唯一の医療機関である球磨村診療所の復興支援を自衛隊と協力して行い、診療支援や巡回診療の支援、医薬品の配達など被災者に医療と薬剤を提供する活動を行った。

被災者に医療を届けることと、被災者でもある地元の医療者の支えとなることを両立するために、お互いに無理のない方法を考える貴重な経験をさせていただきました。（豊山）

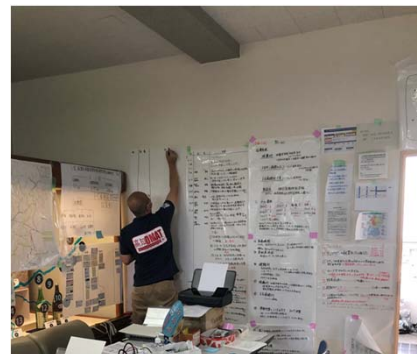
2020年7月 令和2年7月豪雨②



【人吉市】反乱した球磨川周辺
地域の状況



熊本県保健医療災害対策本部
(熊本県庁)



人吉市・球磨医療圏保健医療調整本部で
の活動



人吉市・球磨医療圏保健医療調整本部で
の集合写真

【活動概要】

また、同じく森下理学療法士も7月9日～19日まで人吉・球磨医療圏保健医療調整本部内で活動した。派遣された時期は土砂災害により孤立した球磨村の住民の方や人吉市の避難所への対応、人吉医療センターへの支援人材派遣から始まり、被災地域の医療機関の復興へ向けた対応までと、長期間の派遣であったがゆえに幅広い支援対応が必要であった。

また、新型コロナウイルスに対する感染対応もとても重要な時期であったため、避難所における感染対策の重要性を再認識することができました。(森下)